

地域につながる、「生きる」に寄り添う「広場」のような、場所でありたい。

# ポランの広場

Vol.  
46

独立行政法人  
国立病院機構 花巻病院 [ 広報誌 ]

2019年1月1日発行

TAKE FREE

さあ、  
羽ばたこう  
共に。





## ❖ 病院理念

当院で一番大切な人は患者さんです。  
寄り添い、想像しながら、ともに前に。

## ❖ 運営方針

1. 公的病院としての役割を担い、精神医療並びに重症心身障害児(者)医療の向上に努めます。
2. 地域に開かれた病院を目指します。
3. 臨床研究と教育・研修・情報発信に努めます。
4. 個々の職員がその専門性を発揮し、質の高いチーム医療を目指します。
5. ムリ・ムダ・ムラのない病院経営を目指します。

## 今回の表紙



### 浄土ヶ浜

浄土ヶ浜は岩手県宮古市にある海岸で、三陸を代表する景勝地の1つです。透明度が高く、穏やかな波が特徴で夏はたくさんの海水浴客で賑わいます。

海岸名の由来は曹洞宗に属する宮古山常安寺七世の霊鏡竜湖が「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名付けられたと言われています。

東日本大震災により海岸およびレストハウスは大きな損害を被りましたが、現在は岩手を代表する観光地として県内外問わず多くの方が訪れています。

写真：八木深



## 年頭のご挨拶

## 賢治と異質

**明** けましておめでとうございます。本年もよろしくお申し込み申し上げます。2019年は、年号が5月1日に変わりますが、その1か月後2019年6月7日金曜日8日土曜日と花巻温泉にて、第15回日本司法精神医学会花巻大会を開催することになりました。テーマは、賢治と異質です。多くの方にご参加いただければ幸いです。

賢治と司法とは、直接は関わりありませんが、賢治の生前に出版された童話集「注文の多い料理店」の冒頭をかざる「どんぐりと山猫」は、「あした、めんどなさいばんしますから、おいで」というおかしなはがきで始まります。裁判は三日目です。どんぐりが、頭のとがってるのがいちばんえらいとか、まるいのがえらいとか、大きなのがいちばんえらい、せいの高いのがえらいとわけがわからなくなっています。まるい、とんがっている、大きい、どれも大した違いではな

✎ 八木深…花巻病院病院長

# 賢治の世界

# 異質に優しい

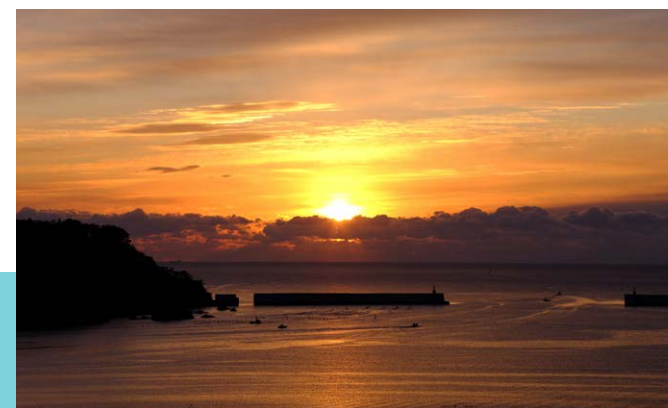
い、まさにどんぐりの背比べでどれも同じようなところで争いをしています。いわば同質の争いでしょうか。しかし、物語は、山猫やどんぐりと話をするという異質な世界で、おかしなハガキが来なくなって金田一郎はがっかりしています。

山猫のおかしなハガキは9月19日に来ましたが、同じ9月の物語として、風の又三郎があります。二学期に転校してきた高田三郎が主人公です。転校生は、よそ者というまなざしにさらされます。おかしな赤い髪をして、顔といったらまるで熟したりんごのよう、ことに目はまん丸でまっくろなので、「あいつは外国人だな。」と言われます。賢治自身は、他人のまなざしに敏感だったのかもしれませんが。春と修羅収載の小岩井農場で、「うしろから五月のいまごろ黒いながいオー



ヴァを着た医者らしいものがやつてくる。たびたびこつちをみてるやうだ。それは一本みちを行くときに ごくありふれたことなのだ」と述べています。賢治は、まなざしをバネに垂直に飛び立ったようでもあります。「又三郎は笑いもしなければ物も言いません。ただ小さなくちびるを強そうにきつと結んだまま黙ってそらを見ている。いきなり又三郎はひらっとそらへ飛びあがりました。ガラスのマントがキラキラ光りました。」賢治のファンタジーは、異物のようにまなざされることから生まれたようです。外国人のような転校生と小学生は、野原で逃げ馬をおいかけて迷子になったり、川で一緒に泳いだりしますが、最後まで「風はどっこどっこ又三郎。」などとはやし立てられたまま、次の日、転校していなくなります。又三郎は、異質なものとしてまなざされながら交流し、去った後、余韻を残す、賢治の眼は、異質なものに優しい。

どんぐりの裁判では、「そんなら、こう言いわたしたらいいでしょう。このなかでいちばんばかで、めちゃくちゃで、まるででないようなのが、いちばんえらいとね。ぼくお説教できいたんです。」で終わります。同質の争いをさけ、違いや異質に優しい賢治の世界は、司法精神医学でも大切です。







## 病院行事

# 病院文化祭を開催して

### 安藤 秀行：催しグループ（契約係長）

**当** 日はメイン会場となった体育館内で、外部出演者を中心に大きな賑わいを見せました。

毎年恒例となった中央みのり幼稚園園児とびっこ保育園園児の元気いっばいで可愛らしいお遊戯からスタート。園児のみならずその親御さんにも十分に楽しんでいただき、その光景は（企画側からも）とても微笑ましく目に映りました。

また、民俗芸能である黒岩鬼剣舞保存会の演舞は、その迫力に見る者皆が圧倒され、魅了されました。普段なかなか間近で目にすることがないだけに、大変貴重な機会だったと思いますし、病棟内のホールにまで足を運んでいただいたことで入院患者さんにも喜んでいただけたことが印象的でした。

催しの中盤以降はピアノ演奏とバンド演奏メインの内容で、まるで音楽祭のような雰囲気の中で文化祭のフィナーレを飾りました。

ステージ発表に快くご出演いただいた皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。実りある時間を過ごさせていただきました。

### 成田 圭甫：出店グループ（契約係）

**初** めての文化祭。準備期間から当日まであっという間に感じましたが、各グループに分かれ通常業務と平行ながら準備を進めるということで、初めて文化祭に参加した私にとってはバタバタした期間でもありました。

私は出店グループとして主に物品調達や会計処理を担当しましたが、お祭りの準備ということでひと味違う感覚で業務に臨むことができました。当日は普段直接的に関わることが少ない患者さんや地域の方々とコミュニケーションを取ることができ、事務職員としても良い経験になりました。

私自身初めての病院文化祭で戸惑うこともたくさ

### 有馬 美保：体験コーナー （さくら病棟副看護師長）

**副** 看護師長会では今年もアロマハンドマッサージ体験コーナーを担当しました。

マッサージを通して地域の方々との交流を図りながら、ひとときの安らぎを提供することができたと思います。また、ハロウィンの飾りつけや着ぐるみは子供たちを中心に、中央廊下を歩く皆さんの注目を集めていました。

48名の方が立ち寄り「毎回参加しています。気持ち良かったです。ぜひ続けてください」「病院で文化祭をやっているのは知っていたけど、初めて来ました。素敵なイベントですね」などの感想をいただきました。

今後も地域の方々とアロマハンドマッサージを通してふれあい、看護の心を伝えていきたいと思っています。来年もお待ちしております。



んありましたが、周りの方々に助けていただきながら無事に自分の役割を果たすことが出来ました。また、このような行事を行うことで、病院が患者さんや地域の方々にとってより身近な場所になっていけるのではないかと感じました。来年度以降も継続しながら、さらに盛り上がるような文化祭を作っていければいいなと思います。



### 菊池 純子：展示グループ（保育士）

**10** 月といえば世の中はハロウィンで盛り上がる季節。花巻病院の10月といえば文化祭で盛り上がる季節。療育指導室では、病院の顔となる正面外来ホールの展示を担当しました。明るい雰囲気皆さんを迎えられる場所を用意するには何がいかとメンバーでアイデアを出し合い、誰もが知っているディズニーのキャラクターとハロウィンをコラボレーションした飾りを作ることにしました。そうしてディズニーのキャラクターたちを簡型にした飾り100個とハロウィンのかぼちゃ飾り50個が出来上がりました。何とか文化祭に間に合うように作り終えたのですが、150個の飾りを吊るすのは一苦勞で、他部門の職員の方々にも手伝っていただき、なんと天井に吊るすことが出来ました。正面外来ホールに飾られた150個のキャラクターたちが「ようこそ花巻病院へ」という職員の思いを込めて皆さんをお出迎えすることができました。

また、今年は体育館のステージ横に花紙で作った花巻市公認キャラクターのフラワーロールちゃんがいたことに気付かれた方はいらっしゃいましたでしょうか？

正面玄関や体育館だけではなく、長い廊下に展示された作品の数々も来ていただいた皆さんの目に留まり、心に残るものとなっていれればと思います。来年の文化祭もおもてなしの気持ちでお待ちしております。







五十嵐禎人先生による特別講演

## topics 01

✎ 木村早智子：心理療法士

**例** 年当院が主催している岩手司法精神医学セミナーが、9月15日にいわて県民情報交流センター（アイーナ）にて開催されました。

セミナーは、症例検討と講演の2部構成となっており、午前は三田記念病院の磯野寿育先生から事例の提供をいただき、刑事鑑定事例の事例検討を行いました。事例対象者が目の前にいるかのようにイメージできる丁寧で詳細なプレゼンテーションにより、診断的検討や障害と犯行の関係、治療方針に至るまで活発なディスカッションが交わされました。

午後は、千葉大学 社会保健教育研究センター 法システム研究部門 教授で日本司法精神医学会理事長の五十嵐禎人先生による「刑事責任能力鑑定における精神科医の役割を考える」と題した特別講演が行われました。当初は非常に難解なテーマに感じられましたが、日本国内や諸外国における責任能力判断基準の歴史の変遷

や代表的な判例を多数例示していただき、特に後半は精神鑑定における心理的要素について多くの解説があり、心理職である私にとっても興味深く聞きごたえのある内容でした。

今回得ることができた多くの学びを日常の臨床に積極的に活かしていきたいと思えます。

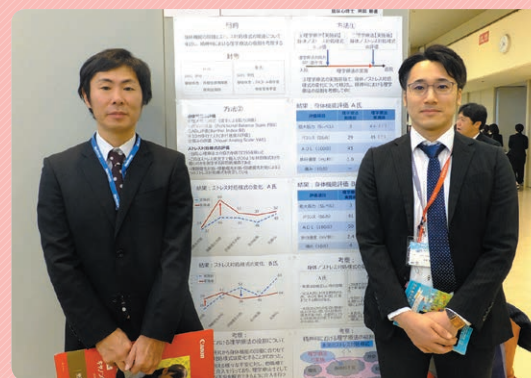


磯野寿育先生を講師とした事例検討

✎ 東海林 諭：理学療法士

**11** 月9日、神戸国際展示場において第72回国立病院総合医学会が開催され、私は「身体機能の回復とストレス対処様式に関する研究」というテーマでポスター発表を行いました。ストレス対処様式とは、人がストレスに直面した時にどのような行動をとりやすいのか、ストレスへの対処スタイルのことをいいます。研究では理学療法の実施前後で身体機能とストレス対処様式の評価を行い、その変化を検討して精神科における理学療法の役割を考察しました。同職種が集まる中での発表は緊張しましたが、興味を持って聞いてくださる方や質問をしてくださる方もいて、とても良い刺激になりました。

私はこれまで精神科での理学療法に携わってまいりましたが、精神症状がきっかけで入院している患者さんの中にも 身体的な不安やストレスを抱えておられる方は多くいらっしゃいます。これからも身体的な回復を通じ、こころの回復も目指した介入を行っていきたいと考えています。



東海林諭さん(左)と共同研究者の阿部心理療法士さん(右)

## topics 02



菅原悠哉さん(前列一番左)と応援に駆け付けた看護部の皆さん

✎ 菅原 悠哉：かなん病棟看護師

**11** 月9日、10日に神戸市で第72回国立病院総合医学会が開催されました。「精神疾患の様々な看護とケア」の分野において『広汎性発達障害患者に対するコンコーダンススキルの効果』という演題でポスター発表をしました。

今年の学会テーマは『多様性の中に個が輝く』でした。社会性やコミュニケーション、想像力の面に障害を抱える方々の人より優れている能力や持てる力に着目し、医療の場において調和を意味するコンコーダンススキルを用いることにより、患者さんと医療者それぞれの考えや意見を尊重し合い治療方針を決定していく過程には、一人ひとりの個性を大切にするという思いが含まれています。その実践の結果、お互いの関係性は良好なものとなり患者さんが自分の思いを適切に表出できるため、患者さんの満足できる医療を提供することに繋がられています。

全国の国立病院機構病院が口演やポスターなどで取り組みを発表しているのを見聞きして、自分の日々の看護について振り返る機会となりました。学んだことや感じたことを今後の業務に役立てていけるよう励んでいきたいと思えます。

### 第72回国立病院総合医学会に参加して

### 岩手司法精神医学セミナーに参加して



topics  
03

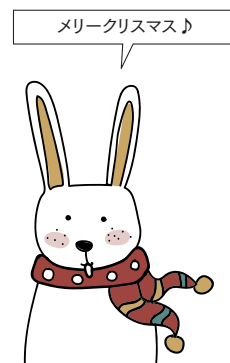
## 平成最後のクリスマス会

かなん病棟 佐藤 榮子：かなん病棟看護師長



12 月12日、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。かなん病棟では年中行事を通じて患者様に季節を感じていただけるよう様々な活動を行っています。

当日は、看護学生さんが企画した楽しいゲームで



メリークリスマス♪

わかば病棟 赤間 義輝：保育士

わかば病棟に携わっている全スタッフと患者さん、そしてご家族の方が様々な余興を行う、毎年のこの時季には欠かせない一大イベント、クリスマス会が12月11日に開催されました。

クリスマス会は、理学療法士、作業療法士によるハンドベル演奏(X'mas song メドレー)からスタート。ハンドベルの音色が会場全体を包み、瞬く間にX'mas 一色となりました。それから、保育士による今年ブームのDA PUMPの「U.S.A」のダンス、看護師による嵐の人気曲「Happiness」のダンスを披露しました。どちらも盛り上がるアップテンポの曲で一緒に踊ってくださる患者さんやご家族の方もいるなど、病棟内は外の寒さを吹き飛ばすほどの熱気を見せていました。

また花巻清風支援学校の生徒さん4名、先生方3名による「僕たち、音楽家!」と題した楽器を使った劇の余興を披露してくださいました。アイデアとユーモアのある劇に笑いと拍手が止まりませんでした。

そして最後は、患者さんたちによる劇「白雪姫in

始まり、続いて元ピアニストという輝かしい経歴を持つ新人看護師の梅川さんの伴奏で、ホールに集まった患者さんや職員みんなでクリスマスソングを合唱しました。さらにカラオケでは、6名の患者さんが作業療法で鍛えたのを披露。最後は職員による出し物、ちびまる子ちゃんの「おどるポンポコリン」の披露です。ちびまる子ちゃんの登場人物に扮装し、気合は充分。曲とともに登場したところ、患者さんもホールの中心で躍り出すほど大いに盛り上がりました。そして、患者さんのお楽しみ、栄養管理室のご協力によるクリスマス特製デザートをいただいて2018年のクリスマス会は閉幕となりました。短い時間ではありましたが患者さんの楽しそうな笑顔を見ることができて職員も嬉しく思いました。

わかば」を披露しました。白雪姫、王子様など原作のキャラクターの他にミニーやドラえもん、ピカチュウなどの有名キャラクターも集結し、終始盛り上がりを見せながら平成最後のクリスマス会に幕を閉じました。

来年は新元号のもと、今年よりも更にパワーアップしたクリスマス会を企画したいと思います。



これがサイドグロウ  
きれいな光に「うわー」と

topics  
04

## スヌーズレンについて

渡邊 憲子：保育士

今回は重症心身障がい児者病棟の療育活動で実施しているスヌーズレンについて紹介します。ところで「スヌーズレン」って何?!と疑問に感じる方がほとんどだと思います。「スヌーズレン」とは、障がいを持つ方が視覚、聴覚、嗅覚、触覚などの感覚刺激を感じ取り、環境の中で自分自身が自由に楽しんだり、リラックスしたりする活動です。

当院のスヌーズレンではエアーマットやハンモックでゆらゆらと揺れ、体の緊張をほぐしたり、オルゴールミュージックと四季折々の映像で癒しを感じたりすることができます。またチューブの中を光が通り、鮮やか

な7色の光に変化するサイドグロウを使って、見るだけではなく手で触れるということも楽しめるようにしていたり、レーザーライトで天井に光の映像を映し出したりすることでより幻想的な空間を作っています。

心地よい照明、音楽、アロマの香りなどが醸し出す環境は、患者さんも援助者さんも心身ともにくつろぎ、穏やかな気持ちになることができます。ぜひ機会があれば、療育訓練棟の癒しの空間をのぞきにきてみてください。



## ARPについて

## ARP：アルコール・リハビリテーション・プログラム

高橋 紀子：心理療法士

当院ではアルコール依存の治療としてARPという集団プログラムを実施しています。毎週月曜日と木曜日の午後1時45分～2時45分にデイケアで開催されるこのプログラムは、入院・外来通院両方の患者さんが参加しており、1クールは6週間で構成されています。参加の条件として、ご本人が自らお酒の問題についてどうにかしたいと考えていること、初回の方は1クールを休まずに参加していただくことをお願いしています。

これまで長く慣れ親しんできたお酒を辞めることは簡単なことではありませんが、一方でお酒が原因で

健康に悪影響が出たり、人間関係でトラブルになってしまったりと苦勞をしている方も少なくありません。ARPでは、これまでの自分とお酒との関係を振り返る中で、今後お酒とどのように付き合っていくのが良いのかをご自身が決めていくプロセスを大切にしています。そのため、ご自身の考えや体験をできるだけ率直に話していただき、他の方のお話はよく聴くことをルールとしています。スタッフとメンバーとが話し合う中で、それぞれが今後の人生をより良いものにするためにお酒について考えていければと考えています。

topics  
05



## 新たな仲間を よろしくお願いします!

平成30年10月 異動者・採用者

**今** 回、新たな仲間になった2名。不安と期待を持って日々業務に励んでいる事と思います。異動者、採用者を温かくご指導よろしくお願いします。

- ① 出身地 ② 趣味 ③ 抱負



専門職  
小川 哲

- ① 宮城県大崎市  
② サッカー観戦

③ 平成30年10月1日付で福島病院から専門職として赴任してまいりました。岩手県での勤務は盛岡病院に続いて2回目になります。初めて経験する業務なので、皆様には何かとご迷惑をお掛けするかと思いますが、どうぞご指導をよろしくお願いいたします。



療養介助員  
幸村 みどり

- ① 岩手県北上市  
② 読書、ジョギング

③ 10月に採用されました療養介助員の幸村と申します。最初は戸惑ってばかりでしたが、看護師さんたちや先輩方に適切な指導をしていただきながら、患者さんのお世話をしている事を本当に感謝しております。どうぞよろしくお願いします。



花巻病院で活躍する自慢のスタッフです

## メンバーさんの日常を より豊かなものに…

デイケア部門のご紹介

**デ** イケア部門は、看護師3名・心理療法士1名が中心に運営をしており、それぞれの職種の持ち味を生かしながらメンバーさんと関わっています。看護師は、服薬管理から始まり、体調の悪い方を受診につなげたり、健康上のアドバイスをしたりしています。心理療法士は日々の悩みごとや不安について話を聞き、いきいきとした日常を過ごせるように支援をしています。



デイケアでは、年齢や性別、疾患、利用目的などがそれぞれ異なるメンバーさんが参加されています。できるだけメンバーさんのニーズを満たせるよう、曜日によって参加できるプログラムを複数用意するほか、専従スタッフだけではカバーしきれない分野のプログラムを他部署からの協力を得ながら実施しています。例えば、年金や就労支援制度といった福祉サービスの説明、頭や体を使うトレーニング、ARP（アルコールリハビリテーションプログラム）などの治療プログラムを行っています。

他にも週に3回のスポーツ、季節ごとのバスハイクやクリスマス会といった行事もあります。利用を考えている方は、まず見学から、ゆったり心地よい雰囲気でお待ちしております。

※デイケアの概要については、裏表紙も併せてご覧ください。

多田 匠：心理療法士

## 掲 示 板

### ● セミナー開催報告

## 花巻市認知症セミナーが開催されました

嶋森 学：業務班長

毎年開催されている花巻市認知症セミナーが、今年10月5日(金)に花巻市文化会館で開催されました。当院は共催という形で、医療社会事業専門員2名、心理療法士1名、事務職1名が参加しました。当日は485名が会場を訪れ、医療相談等のブースも盛況でした。

午後からは、大ホールにて成年後見人制度について寸劇を交えた説明があり、その後には「認知症予防の食事」と題しての講演が行われ、来場者からはいろいろな質問が出ていました。

当院スタッフは、ブースを訪れた方の相談を受けるとともに、認知症についてのパンフレットの配布をさせていただきました。

なお、当院は岩手県から中部地域型認知症疾患医療センターの指定を受け、平成28年4月より認知症疾患医療センター事業を行っております。認知症に関する専門医療相談を実施しており、専門の相談員が対応し、必要に応じて診療の予約、診断結果への適切なアドバイスをさせていただきます。(センター直通電話0198-20-0596)



### ● 給食だより

## お正月のメニュー紹介

富手 保果：主任栄養士

当院では、1月1日～3日の朝昼夜とお正月メニューの提供を行いました。

お食事でお正月を少しでも感じていただければと思い、献立を考えました。その一部を紹介いたします。

他にも、かずのこや昆布巻、栗きんとん、紅白なますなどを提供しました。

本年も心身ともに健康になれるような食事を目指し、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。



- ・ご飯
- ・お雑煮風
- ・かまぼこ(松竹梅)
- ・伊達巻
- ・おひたし
- ・黒豆



- ・ご飯
- ・味噌汁
- ・金目鯛の煮魚
- ・酢の物
- ・いくらおろし
- ・デザート





# 精神科専門療法のご案内

## 01 精神科デイケアについて

当院では、精神疾患の受療中で、比較的通院・服薬ができて  
いる方や、主治医がデイケア利用の必要性を認めている方を対象に  
精神科デイケアを開設しています。開所日は平日の9時30分から15時30分まで  
の1日利用制となっており、専属の心理療法士、看護師を配置しています。

デイケアでは、社会参加コースとして、主として集団活動を通じて集中力を向上  
させ、他人との適切な距離の取り方や疾病との付き合い方を学ぶ各種プログラム  
を実施しています。また、就労支援コースとして「仕事ミーティング」を実施して  
おり、近隣の作業所やハローワークに赴き、復職への準備を行うなどのリワークプロ  
グラムも実施しています。



## 02 精神科作業療法について

当院では、作業療法士を複数名配置しており、精神疾患等を  
有する方の日常生活或いは諸活動をサポートすることで回復させ  
る治療を行っています。「作業療法（OT）」は多岐にわたります。日常生活に特化  
したものから、対人コミュニケーション、社会復帰、対象者に合わせて種々のプ  
ログラムを実践します。主なプログラム内容として、手工芸、ゲーム、歌（カラオ  
ケ）、スポーツ、病棟OTでは調理・外出訓練を実施しています。生活技能訓練  
（sst）を使ったコミュニケーション訓練も実施しています。



## 03 精神科訪問看護について

当院では、専門スタッフ（看護師・精神保健福祉士）が精神  
疾患をお持ちの方や、心のケアが必要とされている方々を対象に、  
直接ご自宅や入所施設にお伺いし、生活上の相談をお受けしたり、助言・援助  
などのトータルサポートを包括的に実施しています。病気の不安や、生活の不安、  
人間関係の不安や、ひいては就労の不安など、精神疾患をお持ちの方の苦悩に  
対して専門スタッフがきめ細かなケアやサービスを通して包括的に支援します。



### 外来診療について

- 外来受診は、予約制となります。
- 新患予約受付については、地域支援室（内線520）までご連絡願います。
- [受付期間] 平日（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）9:00～17:00
- 予約後の日時変更については、平日15:00～16:00にご連絡願います。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。雪の多い花巻では冬になると必ずと言って  
いいほどやらなければならないのが「雪かき」です。さて、雪かきの消費エネルギ  
ー量とはどのくらいかご存知でしょうか。30分雪かきを行うと、同じ時間ゆっくりジ  
ョギングをしたのと同程度の消費エネルギー量になるようです。この冬は雪が少ない  
花巻ですが、機会があれば雪かきでダイエットに取り組んでみてはいかがでしょうか  
せん。【広報委員・T】

